

# 平成26年度施策評価に係る外部評価シート

担当部局名	都市整備部・まちづくり推進室		
施策名	施策49 新曽中央地区の整備		
施策の目的	新曽中央地区については、地域の特性を活かしつつ、地区住民が安心して住みやすく、仕事にも便利で活気のあるまちとなるよう、良好な住環境や基盤整備の充実に努めます。		
平成25年度決算(千円)	30,515	平成26年度予算(千円)	21,279

## ※外部評価委員記入欄

評価項目		判断	判断理由	
① 事務事業の妥当性	この施策を構成する事務事業は妥当であるか？	A 効果的な構成である	0	●伝統的な政策領域である。構成事業は、1つのみであるため、優先度の問題は条件外となる。(B) ●判断理由記載なし。(B)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●当該施策の推進において事務事業の過不足はないか。必要性・重要度が特に高い又は低い事業はないか。</li> <li>●施策評価シート「5. 事務事業の検討」の施策内優先度は妥当か。</li> </ul> </div>	B 概ね妥当である	5	●昭和12年より都市基盤整備の最後のエリア、H16年に設置された「まちづくり協議会」により、住民との意見調整により進められている。できるだけ早期の整備が望まれる。(B) ●Bと評価しましたが、自治行政が陥り易いこととして計画ありきで進める、或いは進めざるを得ない。所謂、特に大きな計画ほど、立ち止まって計画を見直す必要がある。(B) ●大変大きな事業であると思いますが、今後外的要因が著しく発生(東京オリンピック対応等)しなければ、妥当と判断します。西地区等、意見交換会等を持たれ、相互で通じ合いながら進められていると思われず。(B) ●事業のくり方が大きすぎる。各段階を設定しているため、それぞれの段階を事業化するとよいのではないかと。(C)
		C 構成に問題がある	1	
② 施策の進捗状況	施策は計画通り進んでいるか？	A 躍進中	0	●計画進捗には、多岐にわたる問題が盛り沢山かと思えます。特に、地権者に対しては、納得のいく説明をすることが必要充分条件かも。(B) ●外的要因として著しく発生していないため、Bとしました。中・東地区と西地区での各地区らしさを尊重しながら満遍なく進捗させたいと思えます。(B)
		B 予定通り	2	●H27年度、都市計画決定100%という目標の実現は難しいのではないかと。(C) ●当初想定した遂行プロセスからの変更がなされたため、態勢を整える局面にある。(但し、プロセス工程表の再設計をされれば、定義として「遅れ」とはならないかもしれない。事業工程の再設定の問題である。)(C)
		C 遅れ気味	4	●判断理由記載なし。(C) ●地元配慮により全体地域の進捗率が遅れているが、地元の合意形成ができれば一気に進む可能性が高い。(C)
③ 資源の方向性	今後、この施策の資源(人員・予算)の方向性は？	↑ 増加	2	●買収の局面に入るため、その意味で計画決定までの局面よりは、予算の増額とならざるを得ない。(↑) ●単年度の増加は当然あり得ますが、長期に渡る支出は避けねばならない。リスク回避のためのコスト管理調整は継続的に必要。(↑)
		→ 維持	4	●資源投入量の増加の必要性は理解できるが、具体的な根拠が乏しい。(→) ●従来この地区では、一定ルールが定められておらず、計画的な整備がされてこなかった。地域の課題を解決し、計画的に整然としたまちづくりを行っていくには必要であろう。ただし、戸田市の長期的な人口動向、財政状態等を見据えて、今後進めていく必要がある。(→)
		↓ 縮小	0	●工夫をしてせめて現状の人員で進めて欲しいですね。今後も。(→) ●外的要因が今は発生し辛い印象であるため、維持としました。(→)

## ④コメント欄(今後の施策運用に関する改善策、その他意見等)

- 総事業費120億円以上の大規模公共事業であるのに、費用便益分析などの政策評価が行われていないという発言があったのは事実と異なる。費用対効果の認識が欠けている。
- 地元市民との合意形成によるまちづくりを行っているため、進捗の遅れを感じるが、住民と共に作る町がどうなるかは楽しみな所である。急速に都市化が進む戸田市においても今後、高齢化が進む人口動態を鑑み、永続的に住みよいまちづくりを進めて頂きたいです。
- 平等性、利便性等の追及が自治行政の基本かとも。しかし、不便を甘受ということを考えの中に入ることも必要かと。費用対効果の試作をされているとの由、決して絵に描いた餅にならないように。
- 外的要因に影響されやすい部分もあるので、今を考えれば現状は無難であると思われず。外的要因(オリンピック)が発生した場合は、特別なサポートが必要かと思いました。